

『盈たして進む IV』



たくましい心と体へ！

保護者の皆様の協力を受け、子ども達の安心・安全を守りながら積極的な徒歩通学に取り組み、毎朝、たくさん子ども達が歩いて登校するようになりました。また、学校まで車で来ることが多かった子どもも、途中の安全な場所で降ろしてもらい、歩いている友達に合流することが増えました。小雨の中、「傘を差したら大丈夫だった」という子どもの声も聞きました。子ども達の中には、「歩いた方がいいとは分かっているんだけど…」 「〇〇ちゃんと一緒に歩けるなら…」という思いをもっている子どももいたようです。しかし、いろいろな誘惑に流されて結局は…、でした。

朝から子ども達の賑やかな声を聞くことができ、一緒に歩いてくださるおじいちゃんやおばあちゃん、地域の方もうれしそう。今後、あいさつ名人やつづける名人が増えていくことを願います。

ところが、梅雨が明けたと同時に連日熱中症警戒アラートが発表されています。私も7時過ぎから通学路を歩き始め、その気温の高さと日差しの強さに戸惑っています。子ども達は元気に歩いていますが、やはりその状況は避けられません。各家庭ではその日の天気や子ども達の体調を見ながら、1学期の残り10日あまりの登校を工夫していただきたいと思います。



地域の方に元気な
あいさつをする2年生



岩谷さん夫婦は毎朝子ども達と一緒に歩いてくださっています



1年生は上級生と一緒に登校します

歯はとっても大切です

6月に保健給食委員会が歯の集会を開いてくれました。今年は、「歯こうってなあに？」という劇でした。保健委員会の5人の「役者さん」がそれぞれ、主人公、お母さん、歯こうくん、歯医者さんを演じ、最後の一人はナレーターを務めました。歯科検診の結果、自分の歯に歯垢が付いていたことが分かった主人公が、「歯垢のいろいろ」を教えてもらいながら、歯みがきのコツを学んでいくというお話です。5人の子ども達は、昼休みを返上して練習に取り組みました。最後まで上手に演じることができた5人に大きな拍手です！



ピッカピッカの♪ 廊下の窓♪



6月の授業参観の後、保護者の皆様には、校舎の窓拭きに協力していただきました。普段の掃除ではなかなか行き届かず、これまで手が回らなかった窓拭き。短時間だったにも関わらず、広い範囲をきれいにさせていただき、子ども達も気持ちよく過ごしています。なお、残っている部分は、その時参加できなかった私が、全て引き受けて頑張ることになっています。